ちょうちゅうかわらばん

長中瓦版

藤沢市立長後中学校
学校だより

〒252-0807 神奈川県藤沢市下土棚 590 番地　0466(44)0341　　2023.5.1　No.2

長中生の素晴らしいところ

着任式の時から感心させられた、長中生の立派だなと感じるところを紹介します。

移動・解散時に私語がなく、整然としている。結果として、整列や静かになるまで待つ等の無駄な時間がなくなり、時間を有効に活用できます。「それだけ?」「そんなこと?」と思われるかもしれませんが、とても価値が高いことです。

これからの社会を生きる皆さんに求められている力の中で文部科学省があらたに強調しているのが**「学びに向かう力」**です。学ぶ楽しさ・喜びを感じることができ、学ぶことで自分が成長することを自覚することができる。これが今求められている力です。「いい成績がとりたいから学ぶ」「ご褒美がもらえるから学ぶ」から**「学ぶことで自分が成長できるから学ぶ」**へ。

先生たちの役と割も「監督」「指揮者」から**「コーチ」「伴走者」「伴奏者」**になることが求められています。長中の先生方も生徒ができるだけ、主体的な・学びあいの学習ができるように様々な方法を試しています。

経済産業省が 2018 年に、「人生 100 年時代の社会人基礎力」というものをあらたに示しました（裏面の図）。「「「人生 100 年時代」となり、企業任せではない自律的なキャリアを開発できる「キャリア権」の在り方も含め、**個人が自らのキャリア・働き方に 意思と責任を持つとともに、活躍し続ける…**」ための基礎となる力」が必要だ。これは、文部科学省の示す「生きる力」の別の説明の仕方と考えてよいと思います。（『「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」（人材力研究会）　報告書』2018 経済産業省）

前述の、長中生の素晴らしい聞く態度も「社会人基礎力」の中の**「チームで働く力」**の「傾聴力」としてあげられています。すでにそれを身につけていると言えるのではないかと思います。

総合的な学習の時間の充実

長後中学校では、予測困難な社会の変化に対応できる力をつけるために、**課題解決的・体験的な生きた学習を進めるように研究を進めていきます。**

1年生は、人間関係の構築のためのスキルを身につける学習、表現活動として合唱祭への取組、課題解決学習としての八ヶ岳野外体験教室、地域調べ学習などに取り組みます。

2 年生 4.27　1 学年のふりかえりと今後の説明

2年生は、進路生き方学習（キャリア教育）として、専門学校・高等専修学校の授業体験（仕事の学び場 Jr.）、職場インタビュー、SDGs の学習として、コーヒー豆栽培（フェアトレード（開発教育））、平和・人権学習等に取り組む計画です。

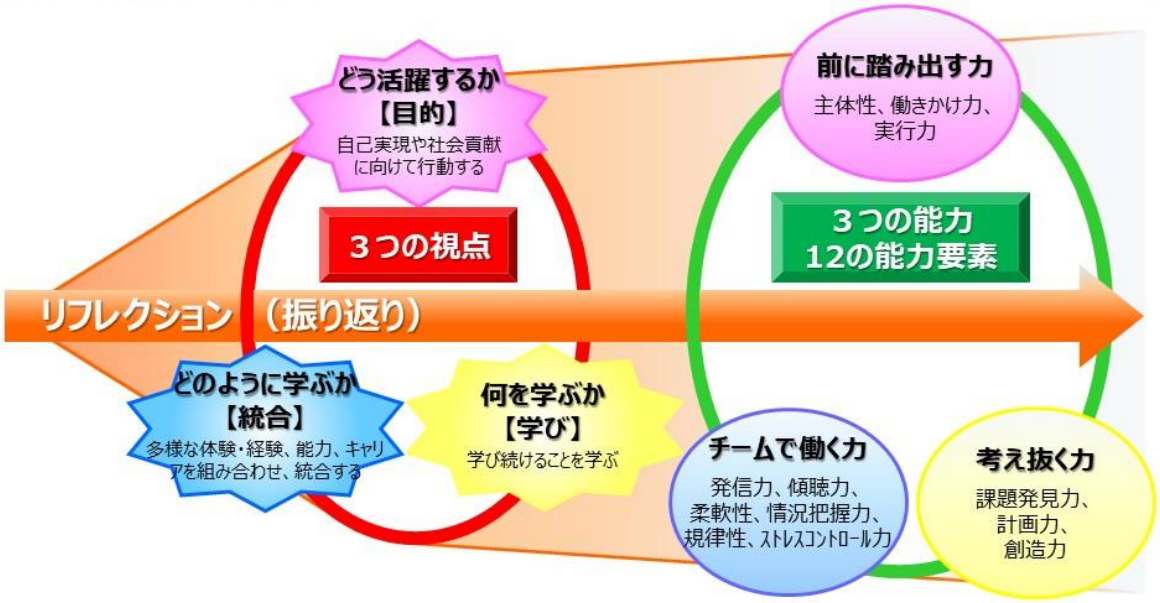
3年生は、進路学習が主になりますが、他にも、表現活動として合唱祭・文化祭への取組等を予定しております。3 年生は、サミットの関係で、修学旅行が広島・京都から京都連泊となりました。腰を据えてじっくりと学習・体験できます。

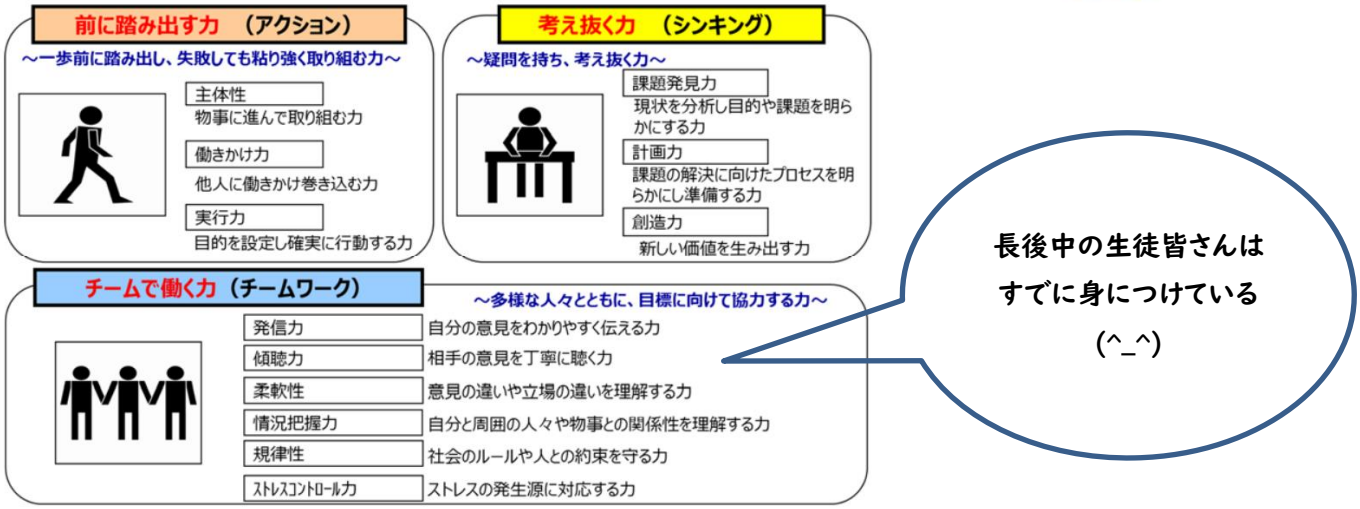
8 組は、社会性等向上のための他校との合同行事や心と体の学習、表現活動としての作品制作に取り組みます。

3 年

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、**これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力**と定義され、社会人基礎力の３つの能力／12の能力要素を内容としつつ、**能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要**と位置付けられる。





（経済産業省「社会人基礎力」2006 年）

６月の主な予定※変更する場合があります

１（木）	専門委員会
５（月）	評議委員会
７（水）	体育祭予行
10（土）	体育祭　11 日(日)予備日
12（月）	振替休業
13（火）	５時間授業
16（金）	生徒総会

22（木）	歯科検診
23（金）	５時間授業
24（土）	市総合体育大会
28（水）	眼科検診
30（金）	５時間授業
最終下校時刻 18:15	